

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
430012	XYY2430012			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
人間工学2	上西園 武良	2	前期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

#### 授業目的

人間工学2(人間情報工学2)では、人間の心身機能に適合した機器・環境を設計するためには、どのような開発プロセスで行うべきかを具体的な事例で修得する。講義の基礎知識として前提としているのは、人間情報システムで学習した「人間の特性」および人間工学1(人間情報工学1)で学習した「人間の心身機能に適合させるための設計手法」である。

#### 各回毎の授業内容

##### 第1回

- 【授】人間中心設計
- 【前・後】事後:HCDの例を考える

##### 第2回

- 【授】家庭用ミシンの事例(1)商品企画①
- 【前・後】HCDの企画手法を復習しておく

##### 第3回

- 【授】家庭用ミシンの事例(2)商品企画②
- 【前・後】3Pタスク分析を復習しておく

##### 第4回

- 【授】家庭用ミシンの事例(3)設計・評価①
- 【前・後】事後:パフォーマンスシートを作成しておく

##### 第5回

- 【授】家庭用ミシンの事例(4)設計・評価②
- 【前・後】差の検定法を復習しておく

##### 第6回

- 【授】人間工学における測定法
- 【前・後】事後:アンケート調査法の要点をまとめておく

##### 第7回

- 【授】温水洗浄便座の事例
- 【前・後】温水洗浄便座の歴史を復習しておく

##### 第8回

- 【授】自動車の事例
- 【前・後】自動車の事例を復習しておく

##### 第9回

- 【授】睡眠の基礎知識(1)
- 【前・後】事後:自己の睡眠時間を1週間記録しておく

##### 第10回

- 【授】睡眠の基礎知識(2)
- 【前・後】脳波の種類を復習しておく

##### 第11回

- 【授】枕の事例(1)商品企画
- 【前・後】枕の役割を復習しておく

##### 第12回

- 【授】枕の事例(2)設計・評価①
- 【前・後】相関係数を復習しておく

##### 第13回

- 【授】枕の事例(3)設計・評価②
- 【前・後】微少角の三角関数を復習しておく

##### 第14回

- 【授】ベッドの事例
- 【前・後】1/fゆらぎ振動の性質を復習しておく

##### 第15回

- 【授】15.まとめ
- 【前・後】人間工学の用語を復習しておく

##### 第16回

- 【授】16.定期試験
- 【前・後】(特になし)

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

・6回のレポート(各10点、計60点)と期末試験(40点)の合計(100点)で評価する。

・授業の2/3以上に出席し、6回のレポートのうち少なくとも3回は提出していることを期末試験の受験資格とする。(2回以下の人には受験資格なし)

・期末試験は「電卓(通信機能なし)」以外は持ち込み不可

#### 教科書参考書

特定の教科書は使用しない。

#### 受講に当たっての留意事項

- 人間工学1または人間情報工学1の単位を取得済であることが受講(履修登録)の条件である。
- 毎回、統計的なデータ処理計算を行うので平方根(√)計算機能のある電卓を持参すること。

#### 学習到達目標

人間の心身機能に適合した機器を生み出すためにどのような開発プロセスで行うかを説明でき、開発計画を策定できる。

JABEE

関連する学習・教育到達目標:H

【授】:授業内容【前・後】:事前・事後学習